**26 『送魏万之京』**

㆓　　　㆒㆑　ⓐ

　　ⓑ遊　　㆓　　㆒ 　１

昨　夜　微　霜　　ⓒ㆑　 　２

＊　　不㆑　㆓　愁　　ⓓ㆒ 　３

①　山　況　是　　中　過 　　　　　４

　　　色　㆑　　 　　　　　５

　　　声　㆑　　 　６

②㆕　　長　　行　　 　７

㆔　歳　　㆓　　㆒ 　８

語　注

離歌＝別れの歌。

河＝黄河。

鴻雁＝かり。大を鴻、小を雁という。

雲山＝雲のかかる山。

客中＝旅の途中。

関城＝関所のある町。

御苑＝宮中の庭園。

砧声＝布を柔らげたり、つやを出したりするために打つ音。

蹉跎 ＝つまずくこと。ここでは（時間を）浪費すること。

問1　この詩の形式について、

⑴最も適当なものを次から選べ。（3点）

ア　七言古詩　　イ　七言絶句　　ウ　七言律詩

エ　七言排律　　オ　七言楽府

〔　　　〕

⑵この詩で韻を踏む字をすべて抜き出せ。（3点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

⑶この詩で対句になっている句の番号を答えよ。（完答で4点）

〔　　　と　　　〕〔　　　と　　　〕

問2　二重傍線部ⓐ「京」とはどこか。詩中の語で答えよ。（3点）

〔　　　　　　　　　　〕

問3　二重傍線部ⓑ「遊子」について、

⑴この語の意味を書け。（4点）

〔　　　　　　　　　　〕

⑵この語が指す人を答えよ。（4点）

〔　　　　　　　　　　〕

問4　二重傍線部ⓒ「度れり」、ⓓ「聴くに」の主語として適当なものを、それぞれ次から選べ。（4点×2）

ア　遊子　　イ　離歌　　ウ　微霜

エ　鴻雁　　オ　作者

ⓒ〔　　　〕　ⓓ〔　　　〕

問5　傍線部①「雲山況是客中過」について、

⑴この句を書き下し文にせよ。（6点）

〔

〕

⑵この句を口語訳せよ。（6点）

〔

〕

問6　傍線部②「莫㆕是長安行楽処　空令㆔歳月易㆓蹉跎㆒」で作者が言っていることを、五十字以内で説明せよ。（9点）

〔

〕

練習問題〈漢詩〉

次の①～⑫に入る語を後から選べ。解答は番号を語群欄に記入すること。同じ番号には同じ語が入る。

漢詩は紀元前からある①と、②以後作られた③とに、大きく分かれる。

①はさらに古詩と④とに分かれる。一句の字数としては⑤・⑥・七字があり、一首の句数は⑦で、原則として⑧に韻を踏む（⑨ともいう）ことになっている。

一方の③はさらに⑩・⑪・排律に分かれる。一首の句数が四句からなるのが⑩で、八句からなるのが⑪である。③では五言の詩は⑧に韻を踏むが、七言の詩では⑫と⑧とに韻を踏むことになっている。

〈語群〉

楽府　（　　）　　一句末 （　　）

五字　（　　）　　近体詩 （　　）

絶句　（　　）　　古体詩 （　　）

不定　（　　）　　押韻 （　　）

律詩　（　　）　　偶数句末 （　　）

四字　（　　）　　唐 　　　　（　　）

【解答】

問1　⑴ウ

　　　⑵歌・河・過・多・跎

　　　⑶3句（と）4句・5句（と）6句

問2　長安

問3　⑴旅人　⑵魏万

問4　ⓒ＝ウ　ⓓ＝ア

問5　⑴雲山況んや是れ客中に過ぐるをや

⑵ましてや雲のかかる山を旅の途中通過する時はなおさら聴くに堪えない（だろう）。

問6　長安は遊ぶ所が多いので、ぶらぶら遊び歩いて、貴重な時間を無駄にするなと、魏万に注意している。（46字）

【練習問題解答】

楽府④　一句末⑫　五字⑥　近体詩③　絶句⑩　古体詩①　不定⑦

押韻⑨　律詩⑪　偶数句末⑧　四字⑤　唐②